

な～に谷っ戸ん田 4年目の31回目 - 赤米の脱穀 -

と き： 平成 22 年 1 1 月 1 3 日(土) 10:00～17:00

ところ： 谷っ戸ん田のたんぼ・堀の内大豆畑

天 気： 曇りときどき晴れ

参加者： 石田、加藤、坂本、佐々木母子、田中、松本夫妻、吉田
大人 8 名、子供 1 名(計 9 名)

活 動：【午前】10:00 開始

・石田さんの秘密兵器「稲の乾燥測定機」で乾燥が無事 15%台であることを確認(15-16%が理想らしい)。

・鳥避けの糸を巻き取り、支柱を回収。

・脱穀機「ビック大島」1台をたんぼに運び、エンジンをかけるもガス欠。急遽、石田さんがガソリンを調達に行く。ガソリン到着！優君が「ちゃんといれられるの？」という心配が的中。タンクの中に入っていた網がじゃまをし、溢れる…。ガソリンが乾くまで5分の小休憩。

・10:30 頃 無事、脱穀機が稼動し作業開始。

石田さん、松本さん(夫)、吉田さん = 脱穀担当

加藤先生、坂本さん、松本さん(妻) = 藁から脱穀できていない稲を手で選別し、藁を 10束づつ麻紐でまとめ、たんぼの畔に積み上げ

佐々木さん(母) = 脱穀できていない稲を手で脱穀

田中・優くん = 70cm くらいの長さに麻紐をつくる。その後みなさんのお手伝い。

・休憩では松本さんから jerry(彩果の宝石のような)と、優くんからアンパンマンキャンディをいただく。

・順調に作業は進み、作業終了！

ベニロマン【ヤンマーの袋 5個(計おそらく 40kg 強)】

カンニホ(神丹穂)【三菱の袋 2個 計 20kg 弱】

【お昼】 12:40 各自でお弁当。

・坂本さんから種なし柿(甘くておいしかったです)、田中は奈良のお土産(奈良漬)を差し入れ。

【午後】13:50 堀の内大豆畑へ移動

・大豊作の大豆畑。ひたすら大豆を引っこ抜き、6・7束にして麻紐で束ねる。紐はポールに掛けやすいようあまりきつく縛らない。

・14:40 男性陣が谷っ戸ん田からポニーとポールを運んでくる。

- ・束ねた大豆を掛けていく 鳥に食べられないように上段から掛けていく。
- ・ 16:20 すべての作業終了！
- ・ 希望者は大豆になりかけの枝豆をお持ち帰り

< 入口から畑に向かって左手（長い列） > 5 ポール上段のみ（黒豆）・ 2 ポール（白豆）
ポールに麻紐で目印あり・ 3 ポール（黒豆）
< 入口から畑に向かって右手（短い列） > 2 ポールすべて白豆

- ・ 谷っ戸ん田に戻って道具の片付け & 赤米を上的小屋へ移動
- ・ 17:00 解散

感想

赤米脱穀から大豆畑の全収穫と、少人数でがんばりました ^^

優くんも、大豆畑では大人が作業に集中してあまりかまっていられず、「帰ろ～帰ろ～」とぐずってましたが、最後まで我慢して偉かったです

今日の心残りはよく漬かった奈良漬を久保さんに食べていただけなかったこと・・・

石田さん・松本さん・吉田さんが最後まで残りの片付けありがとうございました！

記録：田中